



第¹¹²号

2013 / 4

交通系 IC カード全国相互利用サービス開始で、
出来ること・できない事

2013年3月23日、JRをはじめとする全国10種類の IC カードが相互に利用できるようになった。つまり岡山で ICOCA (JR 西日本) を利用している人が関東の PASMO エリア (東京メトロや東急など) で利用できたり、福岡で nimoca (西鉄) を利用している人が岡山・広島や関西の ICOCA エリア (JR 西日本) で利用できるという事である。全国のおもな鉄道やバスがどれか1枚の IC カードを『IC』マークのバスや自動改札機などで利用できるようになった。この全国相互利用サービスで利用できるカードは



- Kitaca (JR 北海道)
- PASMO (関東地区おもな民鉄)
- Suica (JR 東日本・東京モノレール・東京臨海高速鉄道など)
- manaca (名古屋鉄道・名古屋市交通局・豊橋鉄道)
- TOICA (JR 東海)
- PiTaPa (関西地区おもな民鉄)
- ICOCA (JR 西日本・JR 四国)
- はやかけん (福岡市交通局)
- nimoca (西日本鉄道)
- SUGOCA (JR 九州)

岡山ではこれまであった磁気式のバスカードに変わり『Hareca』が誕生した。利用できる会社は岡電バス・岡電(路面電車)・下電バス・中鉄バス(53号線)・両備バスであったが、3月12日より宇野バスでも Hareca の利用が出来るようになった。なお岡電・下電・中鉄(53号線)・両備では ICOCA の利用も可能だが、宇野バスでは ICOCA の利用は出来ないのので気をつけていただきたい。

今回の全国相互利用サービスで10種類のカードはエリアを問わず利用できるようになったが、岡山の『Hareca』・広島の『PASPY』・香川の『Iruca』・愛媛の『IC い〜カード』・高知の『ですか』など、地域独自のカードは現状のままである。



事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-15(禁酒会館3F) TEL&FAX 086-232-5502
E-mail racda_okayama@ybb.ne.jp

RACDA

検索



特集

瀬戸大橋線開業 25 周年

2013 年 4 月 10 日、瀬戸大橋線全線開業から 25 周年を迎えます。25 周年記念企画としてちょっとした瀬戸大橋線机上旅行の世界へご案内いたします。



高松までの小旅行、今回は快速マリンライナーを使います。普通に自由席というのもいいですが、今回はちょっと趣向を凝らして、パノラマグリーンで行ってみます。パノラマグリーンは快速マリンライナーの各列車(一部を除く)の高松側運転席の真後ろに 4 席だけ設定されているもので、前面展望を味わいながら旅行を楽しむことができる旅の特等席です。指定席なのであらかじめみどりの窓口やみどりの券売機でグリーン車指定席券を購入しておく必要があります。乗車当日でも運が良ければ空きがありますが、確実に乗車したいなら乗車日の 1ヶ月前の発券開始日に購入しておくことをお勧めします。

10 時 30 分
岡山駅
みどりの窓口

11 時
岡山駅

これから岡山駅 11 時 13 分に出発する快速マリンライナー 25 号に乗り込みます。快速マリンライナーののりばといえば 6 番のりばですが、時間帯によっては 5 番のりばや 8 番のりばからの発車となるので、要注意。

11 時 03 分
岡山駅
5 番のりば

折り返し 11 時 13 分発の快速マリンライナー 25 号となる快速マリンライナー 22 号が到着します。さっそく乗車といきたいところですが、指定席車両は到着後清掃があるので、清掃完了までしばらくホームで待機。

11 時 13 分
岡山駅発車

清掃が終わって乗り込み少しすると、岡山駅を発車する時刻となりました。「戸閉め点、合図よし、出発進行」という運転士の声とともに発車します。そして、車掌からのアナウンス。「今日は快速マリンライナー高松行きをご利用くださいましてありがとうございます。この列車は妹尾、茶屋町、児島、坂出、終点高松に停車してまいります。

11 時 16 分頃
大元駅

児島発岡山行き普通列車とすれ違います。運が良ければかばちゃ色の電車と会えるかも。

11 時 23 分頃
早島駅

高松発の快速マリンライナー 24 号とすれ違います。

11 時 28 分頃
植松駅付近

高知発岡山行きの特急南風 8 号とすれ違います。

11 時 36 分
児島駅出発

児島駅では運転士/車掌が交代します。ここまでの受け持ちは JR 西日本、ここからの受け持ちは JR 四国となります。ほかの停車駅よりちょっと長い停車時間をとって発車となります。

11 時 38 分頃
鷺羽山
トンネル手前

高松発の快速マリンライナー 26 号とすれ違います。すれ違った直後に進入するトンネルが鷺羽山トンネルです。このトンネルを抜けると瀬戸大橋です。

11 時 39 分頃
瀬戸大橋

いよいよ瀬戸大橋線最大の目玉区間の瀬戸大橋に突入です。瀬戸大橋は児島側から下津井瀬戸大橋(吊り橋)、櫃石島橋(斜張橋)、岩黒島橋(斜張橋)、与島橋(トラス橋)、北備讃瀬戸大橋(吊り橋)、南備讃瀬戸大橋(吊り橋)の 6 つの橋を使って島伝いに海を越えていきます。

11 時 41 分頃
櫃石島橋付近

松山発の特急しおかぜ 12 号とすれ違います。

11 時 50 分頃
宇多津駅構内

瀬戸大橋に別れをつれると大きな高架と出会います。ここで、松山方面と高松方面の列車に分かれるのですが、実はこの高架は宇多津駅の構内扱いになっています。ホームがあるところを全く通っていないのに宇多津駅を通過していることになります。

11 時 53 分
坂出駅

四国内に入って最初の停車です。

11 時 54 分頃
坂出駅付近

坂出駅を発車して直ぐに岡山行き快速マリンライナー 28 号とすれ違います。岡山行き列車とすれ違るのはこれで最後です。

11 時 55 分
八十場駅付近

琴平行きの普通列車とすれ違います。

11 時 58 分頃
国分駅付近

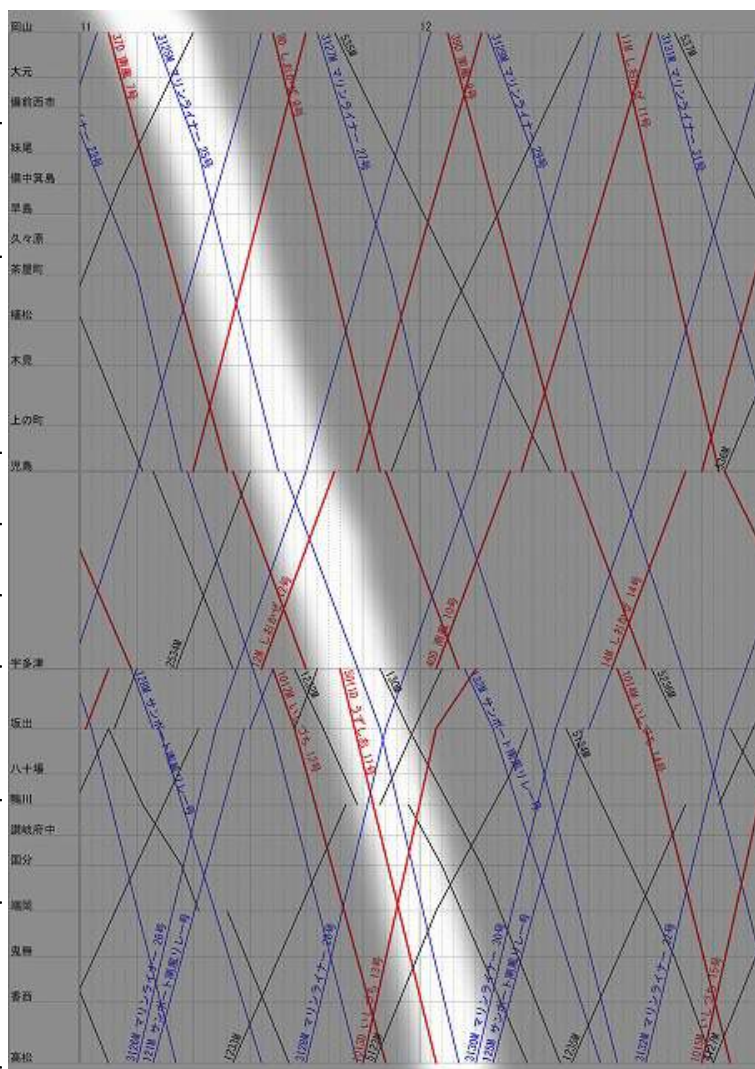
松山行きの特急しおかぜ 13 号とすれ違います。JR の電車特急の中では一番短い 2 両編成の特急です。短い編成でも中身は振り子機構がぎっしり詰まったハイテク電車です。

12 時 02 分頃
端岡駅付近

坂出行き普通列車とすれ違います。普通列車とのすれ違いもこれで最後。後は高松駅への到着を待つばかりです。

12 時 07 分
高松駅

いよいよ終点の高松駅に到着です。岡山駅を 11 時 13 分に出発して、約 1 時間の旅はこれで終わりです。ちょうど昼時、高松駅構内にある連絡船うどんでも食べてみましょう。



時刻表を見ながらの机上旅行もたまには楽しいモノです。でも、季節はちょうど春。芸術祭も行われていることだし、この機会にぜひ、高松までの小旅行を楽しんでみてください。

